

事務事業	14014	学校英語活動支援事業	担当課 課長	学校教育課 太田 成洋	担当係 担当者	学校教育係 春田 美香
計後 画期 体計 系画	施策	06	子どもが生き活きと学び、生きる力を育むまちをつくる	会計	1	一般会計
		190	学力向上と豊かな心を育てる	款	10	教育費
	取り組み方針			項	1	教育総務費
				目	3	外国語教育費
法令根拠条例等				基本事業		
実施期間		<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H1 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)  ALT委託料 7,973 千円  千円  千円  千円
小学校はALT(外国語指導助手)を2名派遣し、異文化交流や英語活動の充実を図る。5・6年生の英語活動やクラブ活動の時間においてALTを活用。	
中学校はALT(外国語指導助手)を1名派遣し、異文化交流や英語教育の充実を図る。英語の授業においてALTを活用。ALTは民間業務委託。	
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	
プロポーザルによる業者選定のための審査委員会開催、契約事務、業務内容の協議、委託料の支払い	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・ALT派遣については、民間業務委託。 ・小学校は2名のALTを英語活動の授業に派遣。 ・中学校は1名のALTを2週交代で各中学校に派遣。 ・期間は4月1日～3月31日までの間で夏・冬・春休みを除く日 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) 小学生、中学生 ③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 小学生は英語を聞いたり話したりする活動の中で、英語に慣れ親しみ積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。中学生は実践的なコミュニケーション活動を行い、英語能力を高められるようにする。	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値				
		名称	単位	27年度	28年度	29年度
	⇒	ア ALT配置校数	校	6	6	6 (見込)
		イ 派遣日数(小学校)	時限	199	203	210 (見込)
		ウ 派遣日数(中学校)	日	195	195	195 (見込)
		⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	指標数値			
	名称	単位	27年度	28年度	29年度	
⇒	ア 小学生児童数	人	3,080	3,092	3,176 (見込)	
	イ 中学生生徒数	人	1,308	1,320	1,352 (見込)	
	ウ				(見込)	
	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	指標数値				
	名称	単位	27年度	28年度	29年度	
⇒	ア 会話による質問の正答率(小学生)	%	目標	75.0	75.0	75.0
			実績	-	71.0	
	イ 授業時数(中学校)	時数	目標	340	400	420
			実績	409	420	
	ウ		目標			
			実績			
	エ		目標			
			実績			
	オ		目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	7,906	8,697	7,973	8,697		
		合計(A)	7,906	8,697	7,973	8,697	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	972	817	787	1,507		
	トータルコスト(A)+(B)	8,878	9,514	8,760	10,204	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
世界のグローバル化の潮流に伴い、大きく変化を遂げつつあった我が国の国際化に対する取り組みの活性化を受けて、国・県において昭和62年にJETプログラムが創設された。平成14年、ALTを民間委託にしたことに伴い、英語の授業、総合的な学習の時間やクラブ活動においてALTの派遣を開始。	事業開始時は、中学校においてJETプログラムで外国語指導助手を雇用していたが、助手にかかる多額の経費や助手の資質向上のための研修等のあり方等を勘案した結果、専門業者による業務委託の方法を採用した。この結果、指導助手の資質確保・指導に関するノウハウ・教員に対するカリキュラム等のアドバイス等、より有効な英語活動を行うことができるようになった。小学校では、派遣開始当初は一部の学校・一部時間(クラブ活動)でしか活用していなかったが、現在は学習指導要領の改訂に伴い、全小学校の5・6年生において外国語活動の時間にALTを派遣している。	中学校については、「少しずつ英語の単語力がついてきた」「正しい発音を聞くことができる」「スピーチコンテストに向けて発音の指導が受けられてよい」という意見がある。小学校の教員からは、「担任だけで英語活動を行うことは不安だが、ALTがいることによってスムーズに授業を行うことができる」「英語活動を行う上で、カリキュラムの作成や活動の進め方等アドバイスしてもらえるので助かっている」「生きた英語に接することができるのでよい」「子どもたちが異文化を知ることができている」「外国の方とコミュニケーションができる」といった声が聞かれる。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません)  <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	直接外国の人々とふれあい、コミュニケーションを図る機会を設け、実践的活動によりその態度や能力を高めることにより活き活きと学ぶことができ、国際化社会の中で生きる力を身につけることができる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	学習指導要領において、カリキュラムとして外国語(活動)が位置づけられているため妥当である。
③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	民間会社が培っている授業計画や指導のノウハウを、最大限に提供してもらっている状況である。ただし、民間会社が教員と連携して活動の内容や教材等を工夫することにより、子どもたちの興味を引くことでさらに成果の向上が期待できる。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	外国の人と接する機会がなくなり、臆することなく積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や実践的な活動を行うことができなくなる。また、異文化に触れる機会も少なくなる。
⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	プロポーザル方式で委託業者の選考を行っている。小学校においては、派遣の方法も必要時間数のみの派遣としている。中学校においては、カリキュラムの作成・打ち合わせ・教材の作成等は、空き時間を活用し行っているため、その分の派遣を削減すると授業に影響が出る。また、この業務にかかる業務時間は、当初の契約事務と毎月の委託料の支払事務のみである。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

学校の英語活動のカリキュラムに応じて民間委託のALTを派遣することにより、実践的活動を通じて英語能力を高めることができた。また異文化に触れる機会、外国の人と接する機会を設けることにより、これから国際社会の中で生きていく子どもたちの国際理解の基礎を築くための事業となっている。また、次年度の委託業者選定(プロポーザル)時に、小学校での教科化に向けた取組を新たに仕様書に加え、指導内容の充実を図ることとした。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	小学校での教科化に向け、従来の外国語活動にとどまらず指導内容の充実を図るよう契約時の仕様書に盛り込んだ。小学校から中学校へ一連の流れとしてとらえ、子ども達の指導に取り組むことにより学力向上につなげたい。